



## 春の星座解説

---

S-106(13分52秒)

コニカミノルタプラネタリウム株式会社

春。1年の中で、最も気候のよい穏やかな季節。草木が芽を出し、花や木がつぼみをつけ、虫や動物たちが目を覚します。

ぽかぽかと気持ちのよい春の日差し・・・でも、そろそろ夕闇が近づいてきたようです。

## 星空

M

太陽が沈み、夜になりました。  
春は、夜になつても、風がなく、  
うららかな気温の日が多いので、  
気持ちよく過ごせます。

春の麗らかな空氣の中、優しい輝きで春の星達が現れています。

春の星空の星は、穏やかな春の気候と同じように、暖かみのあるやさしい輝きをしているように感じます。

また、他の季節にくらべて星の数が少なく、大型の星座が多いことが特徴です。

それでは一緒に、春の星座さがしをしましょう。  
えつ、自信がないですって・・・?  
大丈夫、春の星座を知るには、  
ちょっとしたコツがあるんです。

※音楽終わる

そのコツさえ知れば、星空に繰り広げられる星座の姿が見えてきますよ！

まずポイントとなる星の並びを見つける」とから始めましょう。

ポイントとなるのは、『北斗七星』と『春の大曲線』です。

北の空、高いところを見てください。

(聞)

七つの明るい星が見えます。  
線で結ぶと、水を汲む『柄杓』の形になります。

みなさん、もうご存知ですかね？  
この特徴的な星の並びと形で有名な  
『北斗七星』です。

私たちが呼んでいる北斗七星の『斗』の文字には、  
『柄の付いたひしゃく』と言う意味があります。  
ひしゃくつまり、北の空にある、  
柄の付いた柄杓の形に並んだ七つの星だから、  
北斗七星と呼んでいるのです。

北斗七星は、  
その並びの形から、世界中の国や地方でも、  
いろいろな形に例えられています。  
この北斗七星は、星座でいうと  
『おおぐま座』の腰と尾っぽになります。

でもこの熊、よく見ると、  
尾っぽが長すぎるようにもいませんか？

実は、尾っぽが長くなつた理由があるのです。

北アメリカに伝わる伝説です。

ある暗い晩、  
2匹の熊の親子が森の中を歩いていました。

やがて、目の前に恐ろしく大きな櫻の木が立ちふさがりました。

## 北斗七星

### おおぐま座

その桺の木は、この森の大王でした。

でも、そのことを知らない熊は、邪魔だと大暴れしたのです。

それに腹を立てた森の大王は、熊のしっぽをひと捻りして、大空へ向かって投げ飛ばしました。

そのはすみで熊のしっぽは伸びてしまい、熊は空にひつかかって星になりました。

これが、おぐま座の尾つぽが長くなつた理由です。

※音楽終わり

もう一匹の熊はどうなつたかって？  
同じように投げられて、こぐま座になつています。

ほら、おおぐま座と同じように尻尾が長いでしょう。

M

北斗七星  
春の大曲線①  
アーチトゥルス

北斗七星の柄杓の柄は少しカーブを描いています。  
そのカーブをそのまま伸ばしてゆくと、オレンジ色の明るい星が見つかります。

これがうしかい座の1等星  
『アーチトゥルス』です。

さらにカーブを伸ばしてゆくと、もう一つ白く明るい星があります。

おとめ座の1等星『スピカ』です。

北斗七星の柄から南に向かつて伸びるこの雄大なカーブを、『春の大曲線』と呼び、春の星座を探す時の、大きな目印になります。

春の大曲線①

春の大曲線②

春の大曲線②  
スピカ

こぐま座

## アークトゥルス

二つの明るい星のうち、最初の『アークトゥルス』には、ギリシア語で『熊の番人』という意味があります。

うしかし座  
おおぐま座

星座は『うしかし座』の星になるのですが、その姿と、おおぐま座を追いかけるような姿から、熊を追う『熊の番人』と思われたのでしょうかね。『春の大曲線』を更に伸ばして見つけた二番目の明るい星、『スピカ』。

おとめ座

星座は『おとめ座』の星になります。

これは女性は、農業の女神デーメテールといわれています。

スピカとはラテン語で『麦の穂』という意味があり、左手に持つ小麦の穂の位置に輝いています。

※音楽終わり

話を『春の大曲線』に戻しましょう。

大曲線をさらに伸ばしていくと、小さなゆがんだ四角形が見つけられます。

M

日本では、その並んだ形から船の帆に見立てて『ほかけ星』と呼んでいました。

これが『からす座』です。

でも、この四角形は、船の帆の形には見えますが、カラスには見えませんよネ。

実は、この四角形は、嘘つきなカラスを天に張り付けた銀の釘の頭の並びなんです。

このカラス、もとは銀色の姿を持ち、人間の言葉を話すことができた賢い鳥で、太陽の神アポロンに仕えていたのです。

からす座

からす座○FF

からす座

春の大曲線①  
春の大曲線②  
からす座へ  
からす座の4つの星

ところが、このカラス、アポロンに嘘をついてしました。

その事を知ったアポロンは、怒ってカラスから人間の言葉を取り上げ、美しい姿を黒に変え、さらには、四つの銀の釘で星空に張り付けてしまったと言われています。

カラスの身体は黒くなつて見えないので、銀の釘の頭だけが見えているのです。

次は星空の高いところを見てみましょう。

『はてなマーク』、『クエッシュョンマーク』といつたほうがわかりやすでしようか。

その形をちょうど裏返したかたちの並んだ星たちがありませんか？

ここにありました。

この形は、西洋で草を刈るときに使う鎌の形をしていることから『草刈り鎌』や『ししの大鎌』とも呼ばれています。

『ししの大鎌』の「『しし』って何？」って思われた方もいるかもしれませんね。

このあたりの星達が『しし座』なのです。

『しし』とは、今で言う百獣の王ライオンの昔の呼び方です。

ただ、星座の世界では、ライオン座とは言わず、『しし座』と呼んでいるのです。

ちょうど、『ししの大鎌』が、『しし座』の頭の部分になります。

『しし座』のライオンは、動物園で見るライオンとは違い、巨大で鉄よりも硬い皮膚を持つ怪物だったということです。

この怪物ライオンの退治を命じられたのが、ギリシャの英雄ヘルクレス。

## ししのおおがまライン

### しし座

ヘルクレスは、弓やこん棒でもビクともしない怪物ライオンを、大格闘の末に倒しました。

怪物ライオンは天に上げられ『しし座』となつたのです。

※音楽終わり

レグルス

M

獅子の尻尾の辺りにも、少し目立つ星がありますね。

(問)

こちらは二等星の『デネボラ』。

この『デネボラ』と、初めに紹介した『うしかい座』の『アークトゥルス』。

そして、『おとめ座』の『スピカ』を結ぶと出来る、大きな三角形。

これが、『春の大三角』です。

覚えていると春の星座が見つけやすくなります。

ぜひ、覚えておいてくださいね！

(問)

『しし座』の右側には、目立った星がありません。

ここには、暗く目立たない星座ですが、『かに座』があります。

『かに座』は、実際の星座は知らなくても、星占いで、その名前を知っているかもされませんね。

かに座

デネボラ

アークトゥルス

スピカ

春の大三角

## M エンディング音楽

穏やかな春の気候と同じように、ゆったりとやさしい印象の春の星空、いかがでしたか？

キラキラと目立つ星は少ないですが、その星の輝きもどこか春めいています。

春の星座を見つけるキー。ポイントは、『春の大曲線』と『春の大三角』です。

今度は本当の星空で、今日紹介した星や星座を捜してみて下さい。

夜空に、星や星座を見つける喜びや楽しさ、きっと感じていただけると思います！